

4. 業績の見通し

当社は、原子力安全・保安院より「発電用原子炉施設の安全性に関する総合的評価」の実施について指示を受け、その対応を進めていますが、これに伴い泊発電所1・2号機の定期検査における発電再開時期を見通すことが難しく、本州方面への電力融通や火力発電所の燃料焼き増しに係る収入・費用を合理的に算定できないことから、連結・単独ともに通期の業績予想（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益）を引き続き未定としております。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、本州方面への電力融通につきましては、当社管内の安定供給確保を前提に引き続き可能な限りの支援を行ってまいります。

販売電力量につきましては、第2四半期累計では、東日本大震災を契機とした、業務用における省エネ意識の高まりや産業用における生産減などにより、前年同期を下回りました。

一方、第3・4四半期では、業務用における省エネ意識の高まりの影響が継続すると見込まれますが、前年の冬季の気温が高く推移したことによる暖房需要の減少の反動や、産業用におけるサプライチェーンの立て直しに伴う生産回復などから、前年同期を上回る見込みです。

以上により、通期では321億kWh程度となる見通しです。

配当につきましては、安定配当を基本としており、期末配当金を中間配当金と同額の1株につき25円とする配当予想に変更はありません。

(参考) 泊発電所1号機は4月22日から、泊発電所2号機は8月26日から定期検査により運転を停止しています。

○ 販売電力量 (平成24年3月期)

	第2四半期累計 (4～9月)	第3・4四半期 (10～3月)	通 期
(対前年同期増減率)	(△3.2%)	(1.5%程度)	(△0.7%程度)
販売電力量	149億kWh	172億kWh程度	321億kWh程度